

平成29年度学校評価実施計画

学校名 大分県立中津北高等学校

前年度評価結果の概要	1. 指導教諭の授業見学をはじめ校内授業研究会を実施し、教職員の授業力・指導力の向上・授業改善につなげた。 2. 模試反省会や面接指導など個に応じた進路指導を展開できている。3年間を見通した進路指導の取り組みを更に充実させていく。 3. 徹底したスクールマナー教育の結果、来校者や保護者から高い評価を得ている。校外でのマナーについて継続指導していきたい。 4. 生徒会が主体となって取り組む全校集会が学校活性化につながっている。全校集会における生徒の運営率をさらに高めていく。
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
知性を磨き、人格を高め、体を鍛えて、21世紀をたくましく生き抜く人間を育成する	1. 確かな学力の育成 2. 豊かな人間性の育成 3. 地域や保護者と連携した魅力ある学校づくり	1. 学力向上と進路目標の達成 2. 気品と逞しさのある生徒の育成 3. 地域や保護者と連携した学校づくり

PL:プロジェクトリーダー SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL・SL
1. 学力向上と進路目標の達成	①授業が「わかる」生徒70%以上(生徒アンケート) ②授業で「活動したり考えたりする機会がかなりある」生徒70%以上(生徒アンケート)	⑦生徒を活動させ思考力を活性化する授業の構築	①教科会議での教科指導、進捗等についての情報共有(月2回以上) ②同一教科、他教科との互見授業(それぞれ年1回以上) ③授業でのICTの活用やグループワーク等を含むアクティブ・ラーニングの実施(授業の70%以上) ④指導教諭授業の参観(全職員1回以上)	PL 教務主任 SL 学年主任 SL 教科主任
	③平日平均家庭学習時間150分以上の生徒(学習時間調査) ④卒業時の進路決定率100% ⑤「小論文・面接指導、教科別個別指導など個別の進路指導が行われている」70%以上(生徒アンケート)	④生徒ひとりひとりの生活習慣の改善と家庭学習時間の確保	⑤課題量の調査と教科間のバランス調整(各学期1回) ⑥考査間および考査直前の学習時間調査 ⑦教務通信を発行(月1回) ⑧学習時間90分を下回る生徒の面談	PL 教務主任 SL 学年主任 SL 教科主任
	④卒業時の進路決定率100% ⑤「小論文・面接指導、教科別個別指導など個別の進路指導が行われている」70%以上(生徒アンケート)	⑤生徒の進路目標達成に必要な学力の把握と個に応じた進路指導の展開 ⑥小論文・面接指導の充実	①新旧引継会(4月) ②1年生・2年生は模試反省会を2回以上、進路希望調査を2回以上 ③3年生は個別進路検討会議を2回以上、進路希望調査を2回以上 ④対外模試の結果や学習時間調査などのデータに基づいた面接指導(年2回以上) ⑤推薦入試に対する全職員による小論文指導・面接指導 ⑥小論文指導力向上に係る教員セミナーや研修会参加(各学年2名以上)	PL 進路指導主任 SL 学年主任
2. 気品と逞しさのある生徒の育成	①スクールマナー(身だしなみ・挨拶・交通マナー等)達成度90%以上(生徒アンケート)	⑦スクールマナー教育の徹底による社会性や規範意識の向上・醸成	①学校周辺通学危険箇所での登校指導(月2回、教職員・生徒会・風紀交通委員・PTA) ②交通安全教室 ③効果的な防災避難訓練(年2回) ④各学年集会でのスクールマナーに関する講話(1回以上) ⑤規範意識の向上を目的とした、生徒指導だよりの発行	PL 生徒指導主任 SL 学年主任
	②「生徒会員が学校行事に積極的に参加した」80%以上(生徒アンケート) ③部活動加入率80%以上	①生徒の自主的な計画・実践による充実した委員会活動と生徒会行事 ②部活動加入率向上等を通じた学校力向上	⑥体験入部(4月)参加率100%と加入率向上につながる取組 ⑦年間行事計画に基づいた生徒会・委員会活動 ⑧ボランティア委員会主導による「ごみゼロ運動」(2回)	PL 特別活動主任 SL 学年主任
	④読書活動の促進、読書感想文の提出率100%	①読書への意欲関心を高める取組	①1年間継続した朝読書 ②国語科・学年部と連携を図った校内読書感想文コンクール(年2回) ③「図書館だより」の発行(月1回以上)	PL 図書館主任 SL 学年主任
3. 地域や保護者と連携した学校づくり	①PTA総会への参加率80%以上	⑦各種PTA活動を通じた学校と家庭の連携と保護者の学校づくりへの参画意識の高揚	①PTA総会と予備集会を通じた学校の理解の深化 ②委員会(執行部・専門部)等年6回以上開催による各種行事の充実 ③「ごみゼロ運動」への協力(1回)	PL 総務主任 SL 学年主任
	②各学年の公開人権HRA実施率100%	①各学年の職員による事前学習会と全職員の共通理解の下に取り組む人権HRA	④各学年の公開人権HRA(年1回以上) ⑤公開人権HRAの授業研究を含めた教職員の研修(3回以上)	PL 人権教育主任 SL 学年主任
	③不登校及び不登校傾向にある生徒に対する100%の組織的対応	⑦HR担任や保護者との連携の強化による教育相談体制の充実	⑥分掌会議での欠課・欠席の多い生徒等に関する情報の収集と共有(月1回以上) ⑦定期的な学年との生徒情報交換と必要に応じたケース会議等 ⑧「保健だより」や「学年通信」を通じた保護者向けの情報発信(学期に1回以上)	PL 保健教育相談主任 SL 学年主任